

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日（土）～14日（日）

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JR ホテルクレメント高松

ワークショップ 5	
企画名	リハビリテーション科医とプライマリケア医コラボ企画 リハ入門
日時	2017年5月13日（土） 8:45～10:15
会場	第8会場（高松シンボルタワー タワー棟 4F BB スクエア）
企画責任者	鵜飼 万実子（亀田ファミリークリニック館山 家庭医診療科）
定員	36名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>超高齢社会を迎え、日本のプライマリケア医は疾患を治療するだけでなく、生活における行動に着目し、患者背景を含めた全体像を考え、そこに適切に介入できることは必須となりました。</p> <p>プライマリケア医はフレイルな高齢者に対しリハビリテーション（以下 リハ）処方を出す機会がありますが、「テンプレートを記入してあとはセラピストにお任せになってしまっている」「リハを学んだことがない。どう考えればいいのかは教わっていない」「なんとなくリハ処方を出しているけど、どこに着目してどの部門何を処方すればいいのか実はよく分からない」、などお悩みではありませんか？</p> <p>人間の行動を科学し介入方法を考察するのがリハ医学の一つの側面です。しかし、大学教育の中でリハ医学を体系的に扱える機関は現状では少数で、また卒後も数少ないリハ科医師（以下リハ医）に出会う機会は殆どありません。</p> <p>【概要】</p> <p>本ワークショップでは多彩な経験を持つ現役のリハ医・プライマリケア医を講師に迎え、リハとは何か、行動を診る上で行動をいかに捉えるかーリハ科の SOAP である障害の診方：ICF の考え方とは何かー、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・病棟コメディカル・家族の役割は何かから解説し、今まで学ぶ機会の殆どなかったリハ医学の基礎を皆さんと一緒に考えていきます。そして、ただの座学にとどまらず、急性期患者の離床を題材にリハ診察・機能評価を行い、予後予測を踏まえてリハの目標を設定し、訓練内容を含めた処方を出すまでの流れを実際に手を動かしながら学んでいきます。</p> <p>あなたはリハチームの指揮者です。リハの基本的な考え方を身につけ、様々なコメディカル・家族と連携し、患者さんの未来を描き、もっとも効果的な介入を考えてみましょう。</p> <p>リハの基礎を一緒に学んでみませんか？学生・研修医・コメディカルといった枠にとらわれず、どなたでも大歓迎です！皆様のご参加をお待ちしております。</p>	